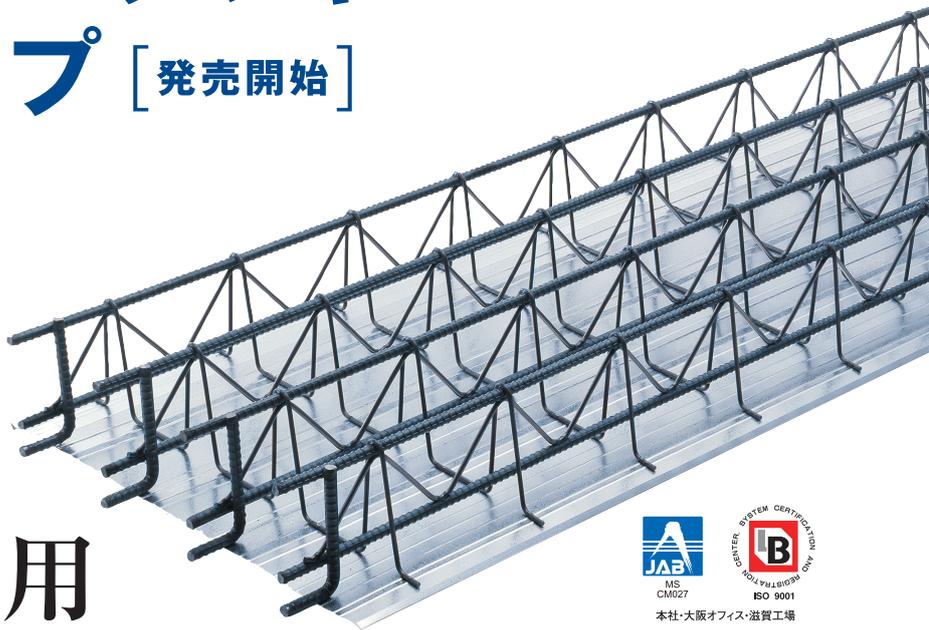


# ニューフェローデッキ<sup>®</sup> グリーンタイプ [発売開始] GREEN TYPE

鉄筋・鉄線・鋼板  
全ての原材料に  
電炉材使用



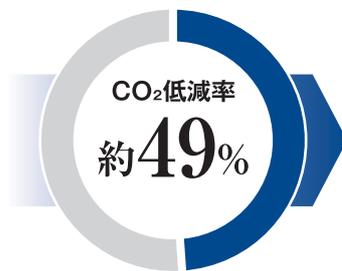
当社では創業以来いち早く環境問題への取り組みを行い、高品質・安全・安心でCO2排出量削減を実現する製品開発に努めて参りました。脱炭素社会を目指し2025年より新たに発売を開始いたしましたグリーンタイプは、鉄筋・鉄線・鋼板全ての原材料に鉄スクラップを主原料とした電炉材を使用することで、CO2排出量を大幅に低減できるため、継続的な環境保全活動が実現可能となります。ニューフェローデッキは全ての製品において、2026年夏頃までに一般財団法人サステナブル経営推進機構(SuMPO)の製品環境認証制度である「SuMPO EPD」の取得を予定しております。

## 概算CO<sub>2</sub>排出量比較例 [ t-CO<sub>2</sub>/10,000m<sup>2</sup> ]

算定に当たっては、国内鉄鋼メーカー各社のEPD公表値を基に行っております。

ニューフェローデッキ  
プロトB110タイプ  
製品総重量  
214.3t

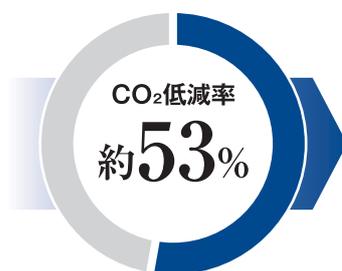
現 状	
鉄筋(電炉材).....	79.8t
鉄線(高炉材+電炉材)...	57.0t
鋼板(高炉材).....	118.3t
合計.....	255.1t



グリーンタイプ	
鉄筋(電炉材).....	79.8t
鉄線(電炉材).....	29.8t
鋼板(電炉材).....	19.8t
合計.....	129.4t

ニューフェローデッキ  
エコEB110タイプ  
製品総重量  
175.5t

現 状	
鉄筋(電炉材).....	59.7t
鉄線(高炉材+電炉材)...	50.5t
鋼板(高炉材).....	118.3t
合計.....	228.5t



グリーンタイプ	
鉄筋(電炉材).....	59.7t
鉄線(電炉材).....	26.4t
鋼板(電炉材).....	19.8t
合計.....	105.9t

※ニューフェローデッキ製造や輸送に関するCO<sub>2</sub>排出量は考慮出来ておりません。

# 進化する技術が人と未来を創る

世界の実効的なCO2排出削減を進めるため、日本では「2030年度に26%のGHG排出削減」を、  
 長期的には「2050年までに80%削減」という目標を掲げ、環境・エネルギー分野のイノベーションを促進しています。  
 当社では下記の概念に基づき、SDGsへの積極的な取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

### 脱炭素社会

CO2排出削減と再生可能エネルギーの導入拡大

## 地球環境保全

自然環境保護に関する企業活動の推進

### ニューフェローデッキ® グリーンタイプ

### 資源循環

資源を有効活用した  
循環型生産体制の確立

### 自然共生

自然との共生を実現する  
調和のとれた社会の構築

エネルギー使用の効率化

SDGsへの  
取り組み

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる  
持続可能な近代的エネルギーへの  
アクセスを確保する

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



産業と技術革新の  
基盤をつくろう

強靱なインフラ構築、包摂的かつ  
持続可能な産業化の促進  
及びイノベーションの推進を図る

12 つくる責任  
つかう責任



つくる責任  
つかう責任

持続可能な  
消費生産形態を  
確保する

11 住み続けられる  
まちづくりを



住み続けられる  
まちづくりを

包摂的で安全かつ強靱で  
持続可能な都市及び  
人間居住を実現する

13 気候変動に  
具体的な対策を



気候変動に  
具体的な対策を

気候変動及びその影響を  
軽減するための  
緊急対策を講じる

本 社

〒555-0041 大阪府大阪市西淀川区中島2-1-102

大阪オフィス

〒540-0028 大阪府大阪市中央区常盤町1-3-8 中央大通FNビル16階  
TEL : 06-4790-7729 FAX : 06-4790-8729

滋賀工場

〒520-3213 滋賀県湖南市大池町6-1  
TEL : 0748-75-8775 FAX : 0748-75-5175

グループ会社

株式会社 富士昭サンマテック (設計・施工・販売) 株式会社 富士昭技研 (技術開発) 株式会社 東京富士昭 (東京)

熊谷工場

〒360-0023 埼玉県熊谷市佐谷田2500  
TEL : 048-580-7172 FAX : 048-580-7173

茨城工場

〒315-0002 茨城県石岡市柏原17-4  
TEL : 0299-27-7291 FAX : 0299-27-7290

大阪物流倉庫

〒555-0041 大阪府大阪市西淀川区中島2-1-102  
TEL : 06-6829-6729 FAX : 06-6829-7259